

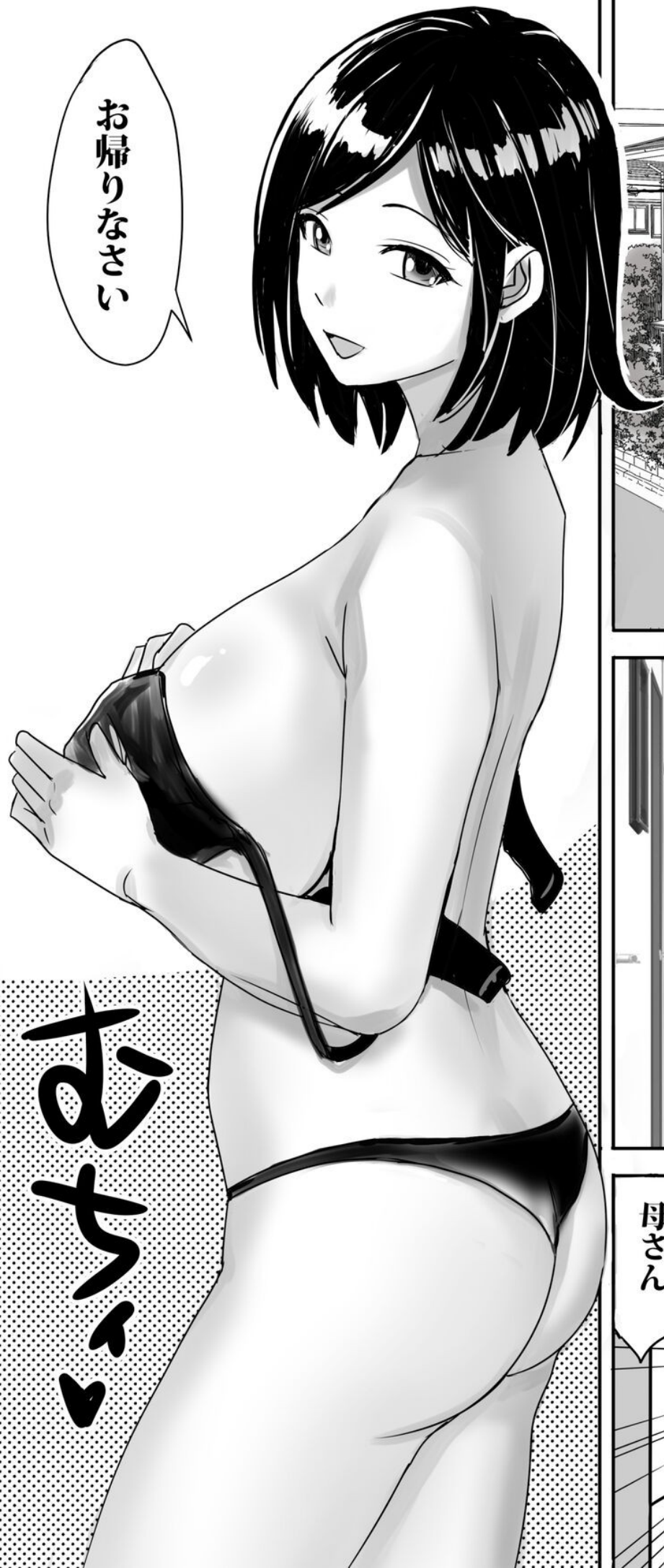
友達の
巨乳ママと
ハメまくり



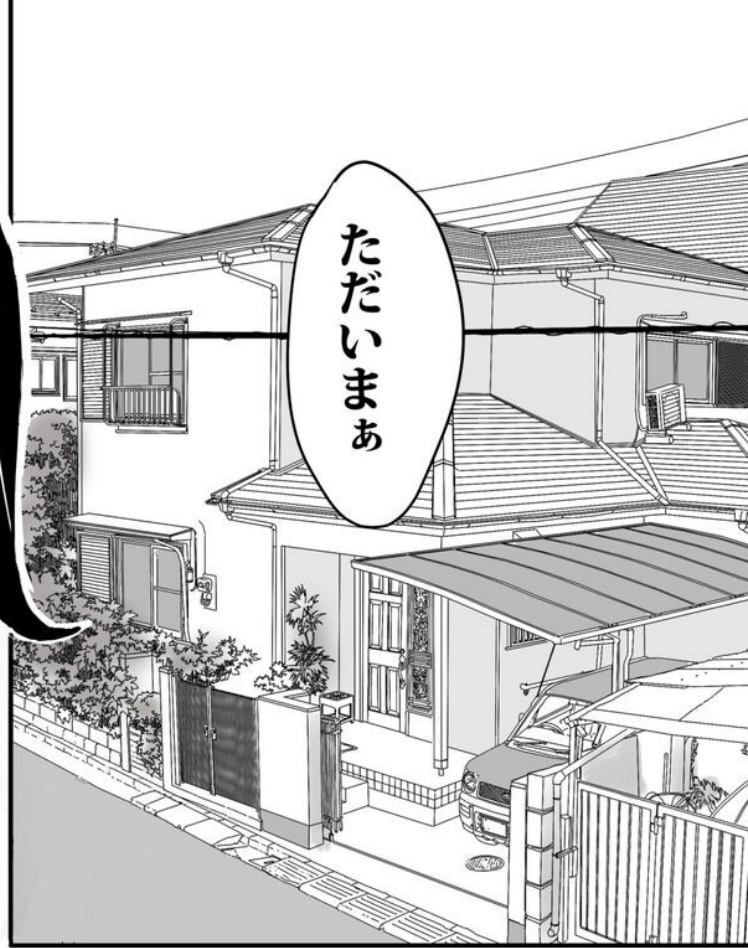




お帰りなさい



お尻



ただいまあ



上がれよ

うん



か：
母さん

ガ
キ
ャ



おじやまします
おばさん…

ニヤニヤ

あらっ
一樹君来てたの

ははは…
ごめんなさい
変なもの
見せちゃって

ニヤニヤ

いえ…

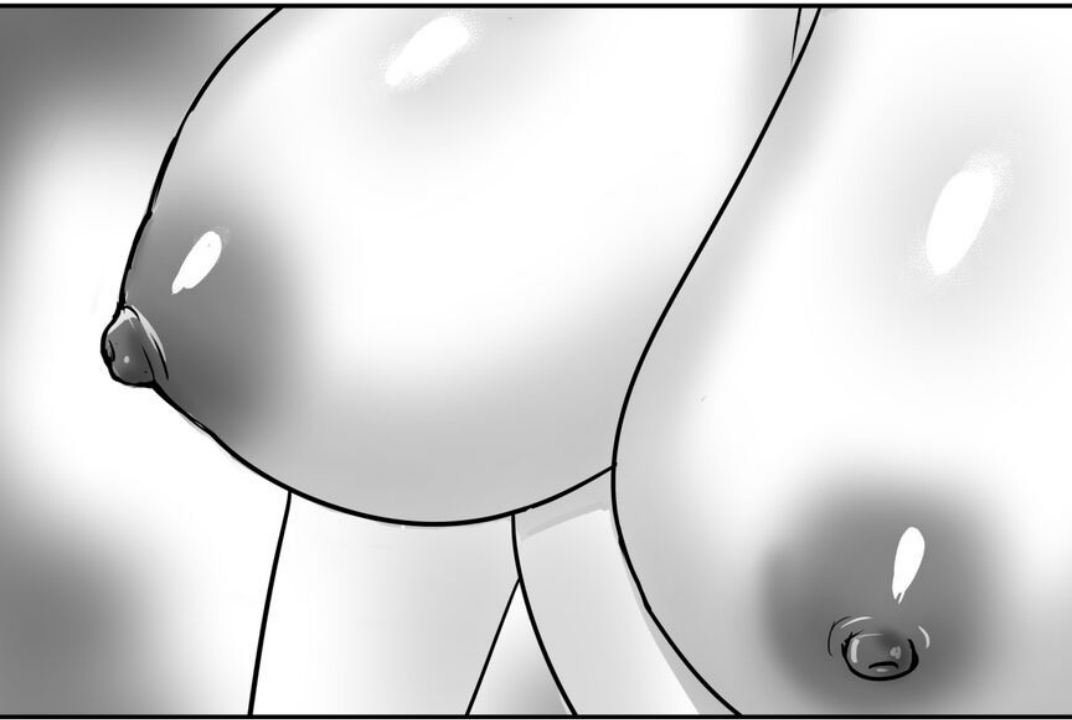
おばさんの
オッパイ
見れるなんて
最高です!

変なものじゃ
ないです
凄くうれしいです

ニヤニヤ

ニヤニヤ

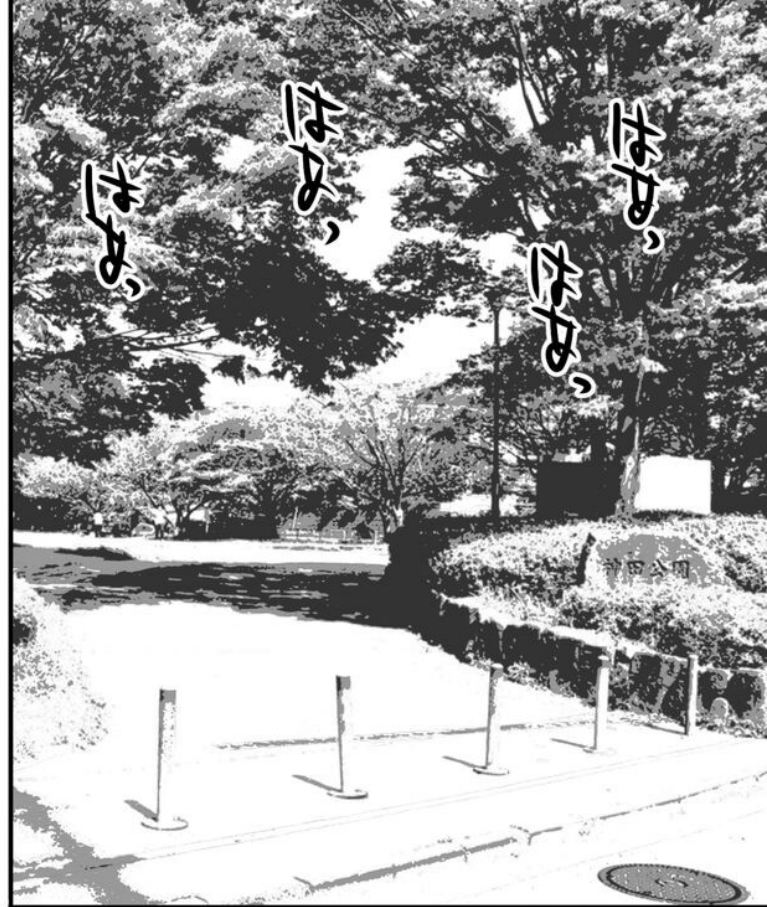














お：
お婆さんが
オナってる...

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

おぼろ

おぼろ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ



いっちゃん

いっちゃん
~~~~!!

マジか...?

ぐちゃ

ズン

ズン

ズン

ぐちゃ

ぐちゃ



何かお礼  
しなきゃね



この事宏には黙っててね  
母親が万引きしたなんて  
知られたら…

もちろん  
言いませんよ



えっ？  
僕そんな  
つもりじゃ…



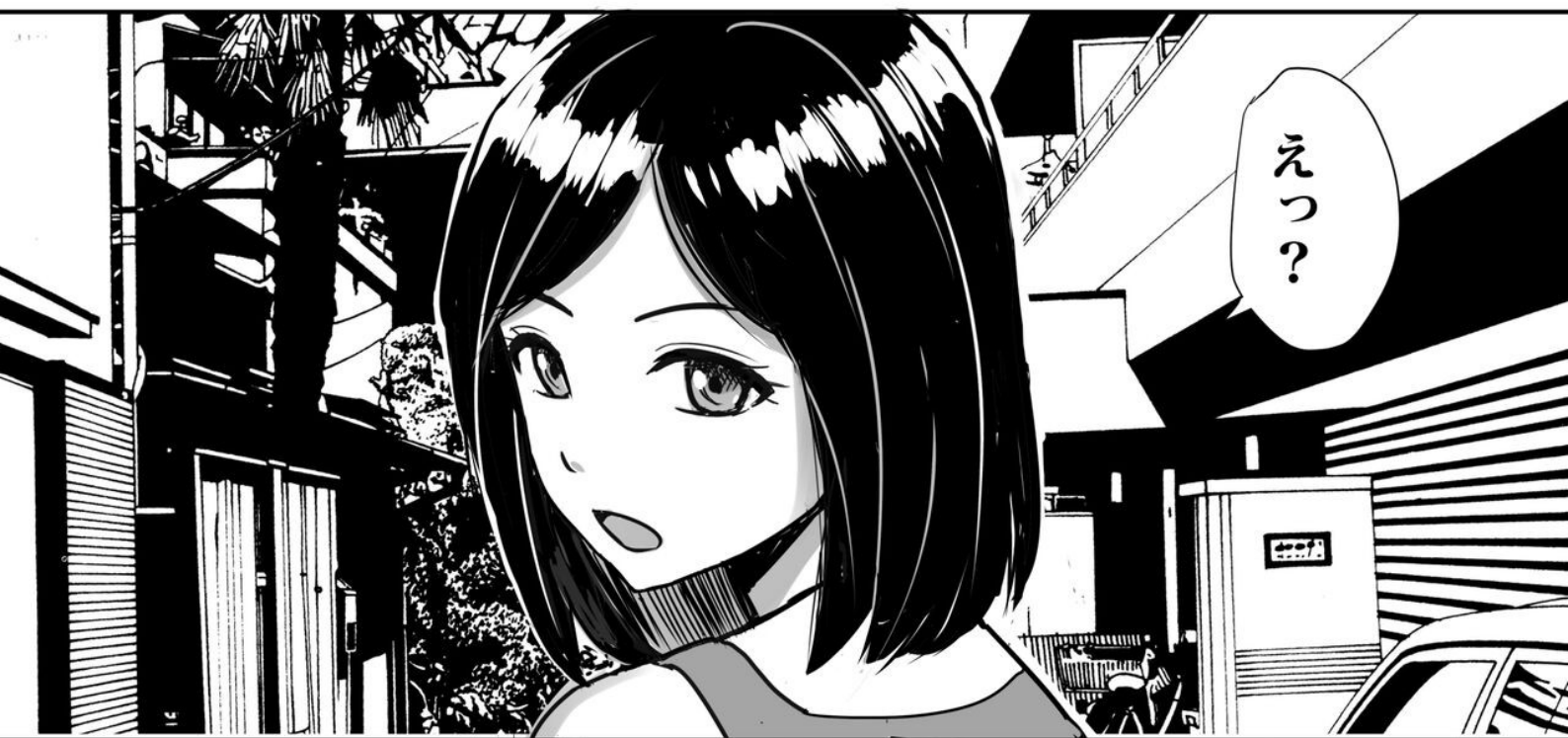
お願い  
そうしなきゃ  
私の気が収まら  
ないの



そ…それじゃ  
おばさんの  
オッパイ  
触らせてください



汗で透けてる



えっ？



そうか…  
一樹君の家庭は  
家とは逆で父子家庭  
だったんだわ



……

ヤバイ…  
言ってしまった



いいわよ

お母さんを  
幼い頃に  
亡くしたとかで  
母親の愛情を  
知らないのよね



でもここじゃ  
ダメだから  
明日家に来て…  
宏も塾で居ないから



はい!

ホントに  
いいんですか!?  
絶対行きます!!



いいわよ  
触って...

ス



な...生で見ると  
更に巨乳だ

ふんふん♡



な…舐めても  
いいですか？

えっ？

い…

いいわよ…  
少しなら…

ハッパッ

ハッパッ

ハッパッ

チュウッ  
チュウッ

もしかしたら  
オッパイも  
吸ったことない  
のかしら

ああ…  
何年ぶりかしら  
男の人にオッパイ  
舐められるなんて…

憧れだったおばさんの  
オッパイ吸えるなんて  
夢みたいだ

僕ずっと前から  
おばさんのことが  
好きだったんです

僕ずっと前から  
おばさんのことが  
好きだったんです

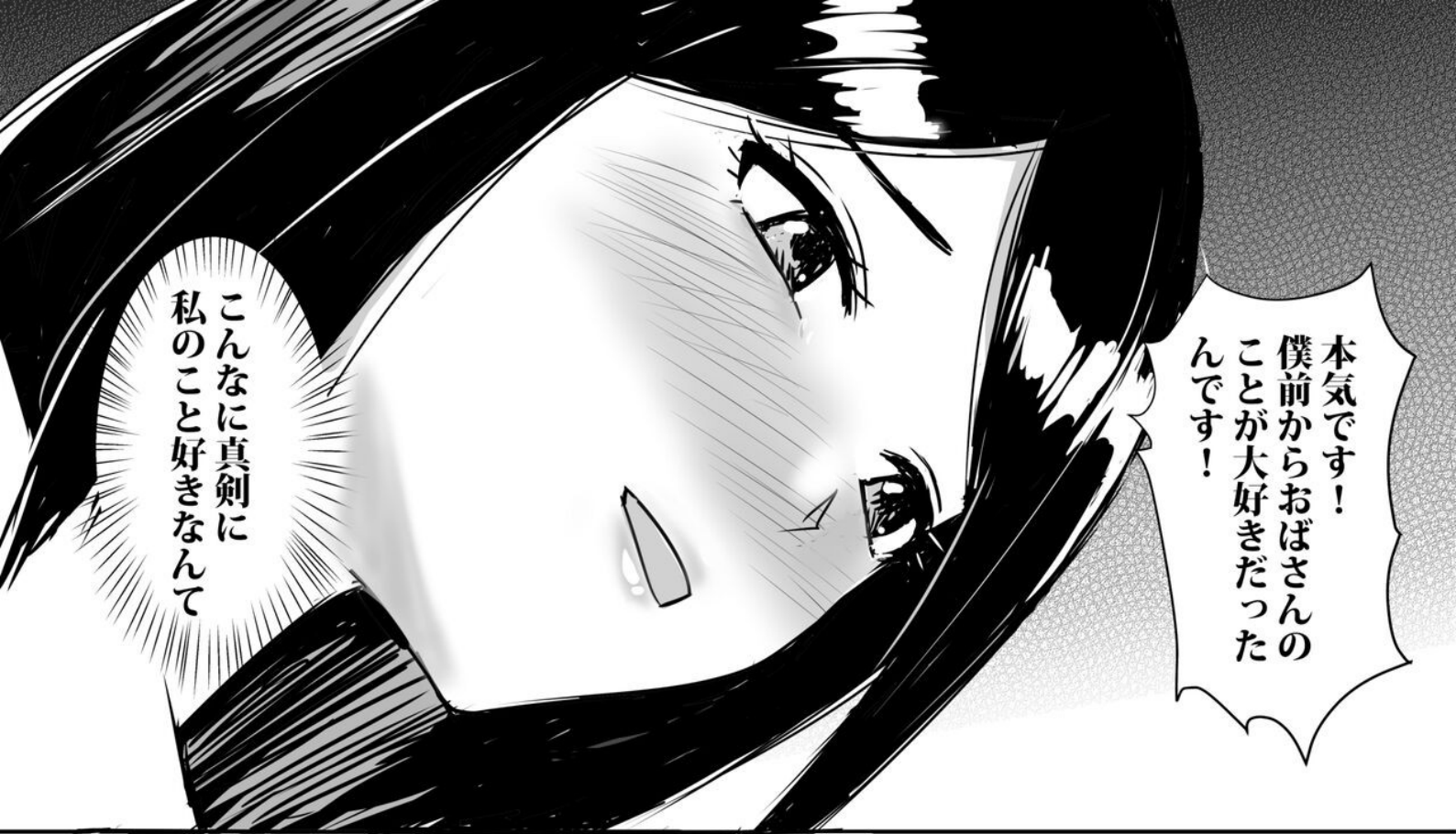
そう…  
ありがとう  
私も一樹君が  
好きよ

えっ？  
ち…違うんです  
そうじゃなくて  
じよ…女性として  
好きなんです

こんなおばさん  
からかって  
本気にするわよ

し  
ろ  
し  
ろ

し  
ろ  
し  
ろ



本気です！  
僕前からおばさんの  
ことが大好きだった  
んです！

こんなに真剣に  
私のこと好きなんて



それ…  
私だから  
勃っちゃったの？



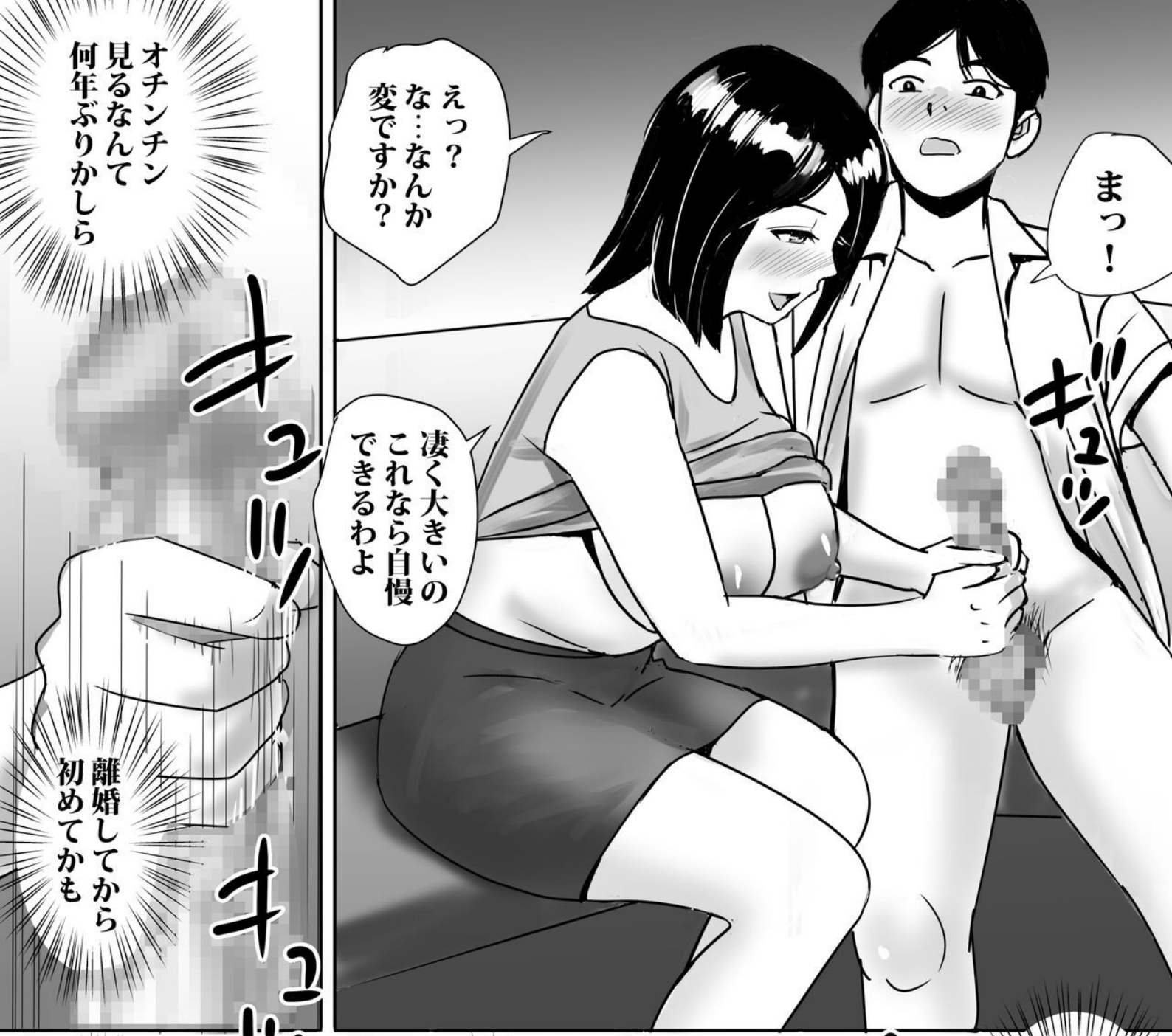
えっ!?



オチンチン  
私が鎮めて  
あげようか



ああ…  
すみません…



えっ?  
な...なんか  
変ですか?

まっ!

凄く大きいの  
これなら自慢  
できるわよ

キュッ  
キュッ

オチンチン  
見るなんて  
何年ぶりかしら

離婚してから  
初めてかも



この感触  
久しぶりだわ

ドクドクと  
脈打ってる

凄い!  
一樹君の  
オチンチン

暖かい

ギュッ  
ギュッ

ニコ  
ニコ



気持ち  
いい？

な...舐めても  
いい？

は...はっ



凄い...  
口の中に入り  
きれないわ

おばさんが  
僕のチンポ  
啜ってる

クワ  
クワ

クワ  
クワ



フエラって  
こんなに気持ち  
イイのか…？

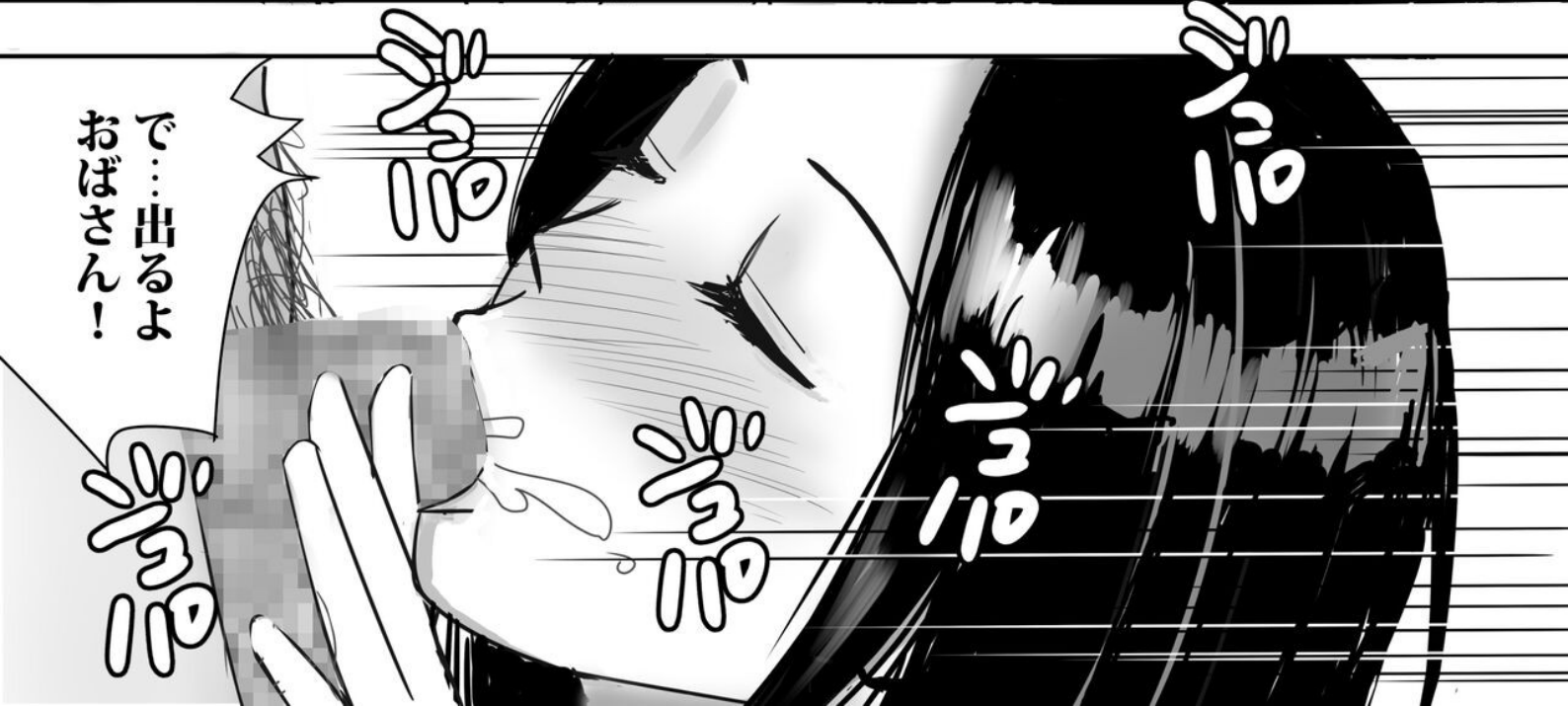
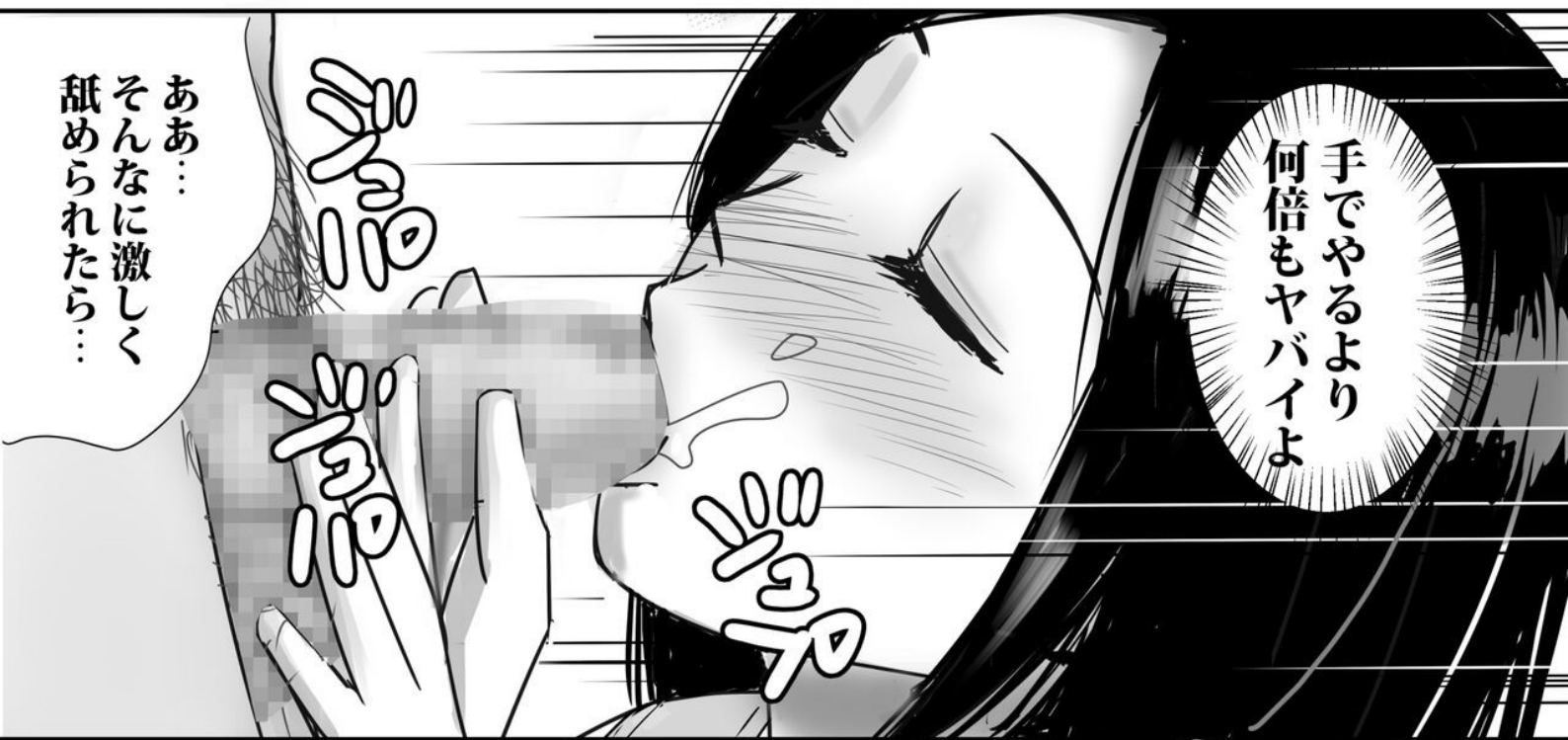


うわあ  
たまんね〜



お婆さんの舌  
超気持ちイイ〜！

ニャニャ







お：  
おばさん

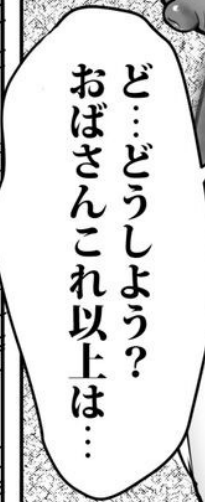


でもまだ  
全然元気ね



おばさんが  
好きなんです

あっ！



ど…どうしよう？  
おばさんこれ以上は…



僕の童貞  
もらってください

ああ…  
一樹君

セックスは  
ダメよ…

お婆さんの  
ストレスって  
セックスも  
あるんじゃない  
ですか？

僕頑張ります  
お婆さんを  
気持ちよく  
させれます

わ…  
わかったわ  
1度だけよ

はい！

私…  
息子の友達の  
オチンチン挿れ  
ようとしてる

いいのかしら  
こんなことして…

ズルッ



10年ぶりの  
オチンチン

フキヤ

フキヤ

フキヤ

フキヤ

き…  
気持ちいい

忘れていた  
この感触

おばさんも  
気持ちいい？

オマンコの中を  
オチンチンが  
擦ってる…

おばさんの  
オマンコ  
気持ちいい！



イイわ…

一樹君の  
オチンチン  
素敵よ

好きだよ  
おばさん…

どろどろ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

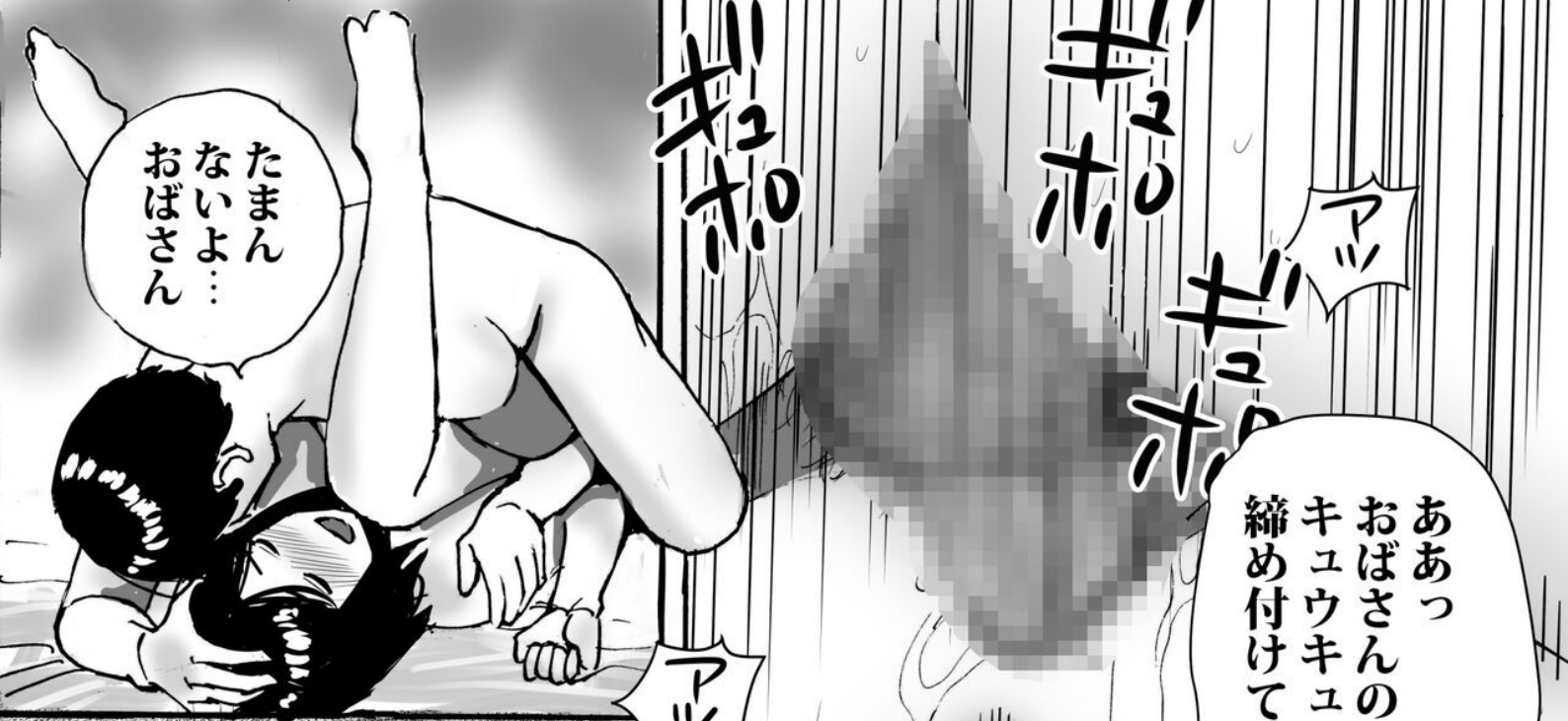
アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



たまん  
ないよ！  
おばさん

あぁっ  
おばさんのオマンコ  
キュウキュウ  
締め付けて来る



あぁ、本物の  
オチンチン  
イイ~~~~!!



あつそこ  
イイー!!

もっと擦って  
オチンチン

イイー!!

アッ

アッ

アッ

あーんあーん!!

アチャ

アチャ

アチャ

アチャ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

キスして  
一樹君...

ねえ…  
後ろから  
してもいい？

いいわよ

ズッ  
ズッ  
ズッ

あああ…  
奥まで届いてる

ズッ  
ズッ  
ズッ

お婆さんの  
大きなお尻  
大好きだ！

ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ



ああ…  
もうイキ  
そオ



あああ…  
イっちやう〜

アッ

ジャァ

ジャァ

ジャァ

ジャァ

ジャァ

アッ

アッ

アッ

アッ



ああ…もう  
我慢できないよ  
射精してもいい？

いいわよ  
今日は大丈夫  
だから



ああ…っ  
一樹君の精子が  
入って来る…!!

おばさん…!!

いっはい  
出たわね…

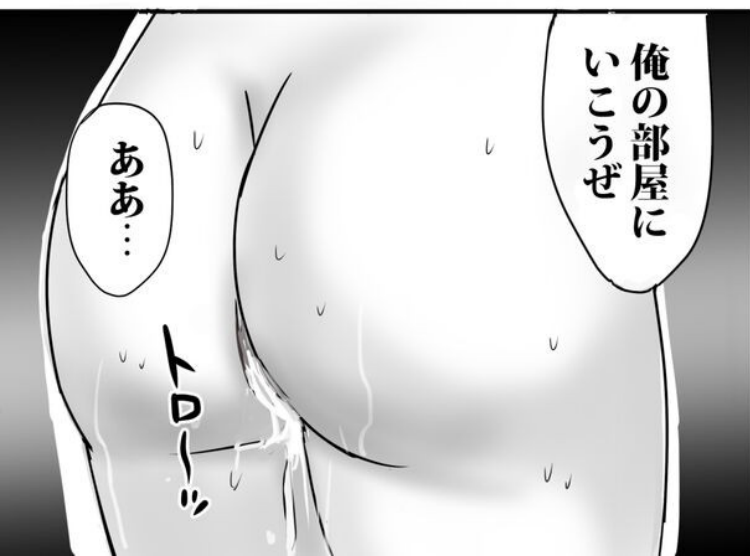
子供の友達に  
中出しされ  
ちゃった

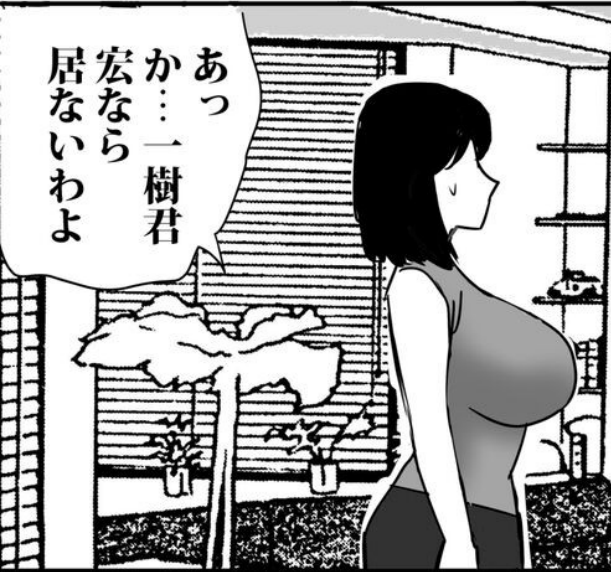
どろり

これ以上はもう  
絶対ダメ…

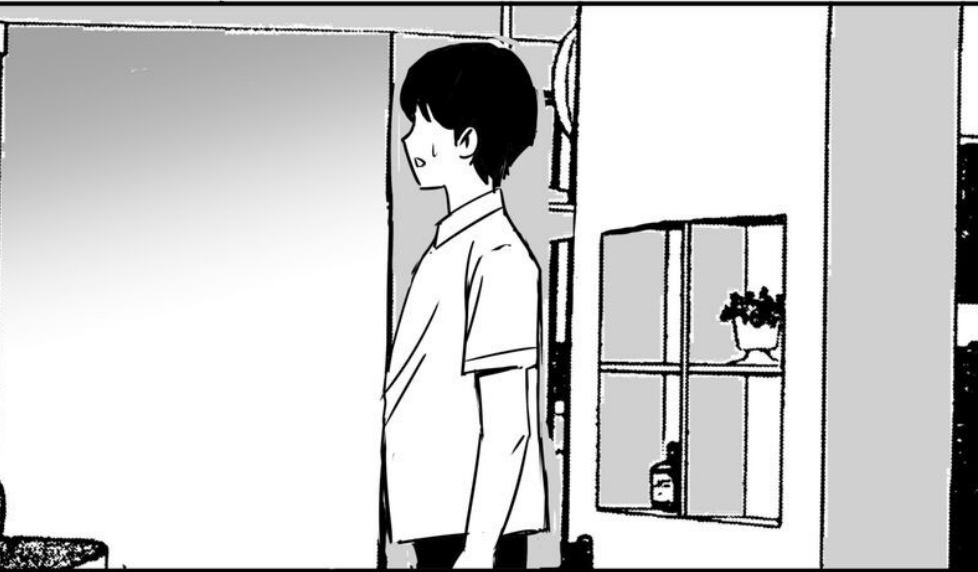
ははは  
ははは  
ははは  
ははは  
ははは







あつ  
か：一樹君  
宏なら  
居ないわよ



昨日は宏が  
いたから  
何も言わずに  
帰ってもらった  
けど…



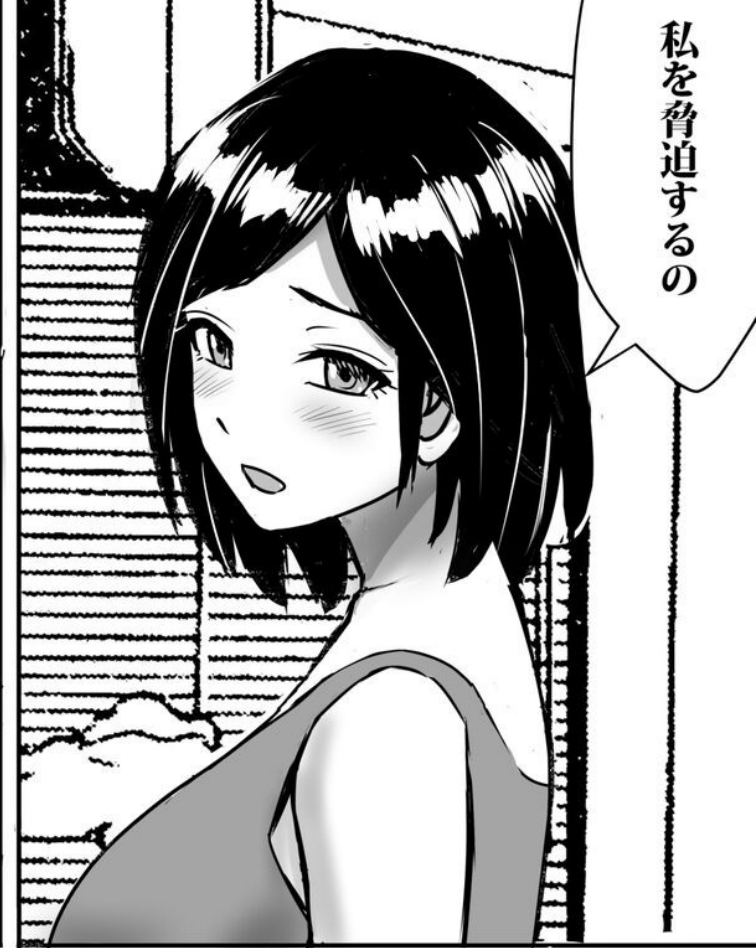
一樹君  
これ以上はもう  
ダメよ

おばさんに  
会いに来たん  
です



おばさんが  
こうして  
いられるのは  
僕があの時  
助けたからです  
よね…

私を脅迫するの



ち…違うよ  
おばさんともっと  
一緒に居たい  
からだよ!!

キュッ



好きなんだよ  
おばさんが…

どうして  
僕の気持ち  
分かって  
くれないんだよ

ああっダメ  
一樹君…



キュッ

まよ

キュッ

スルッ  
ウニユ

グ  
グ  
グ



一樹君…？

かよ…かよ…

モッ

モッ

もう  
しょうがない  
わね

おばさん  
キスして…

ネロ

ネロ

ジュル

ジュル

ジュル

そうだ  
おばさんに  
プレゼントが  
あるんだ！

えっ  
なに？

一樹君…  
これって  
ちよつと  
エロくない

そうかな…

ホントに…？

すたすた

だ…だけど  
おばさんに  
凄く似合ってるよ！

セクシーだよ  
おばさん！

プーン

私もう38よ

プーン

ホントは  
私もあの巨チンの  
味が忘れられ  
ないの

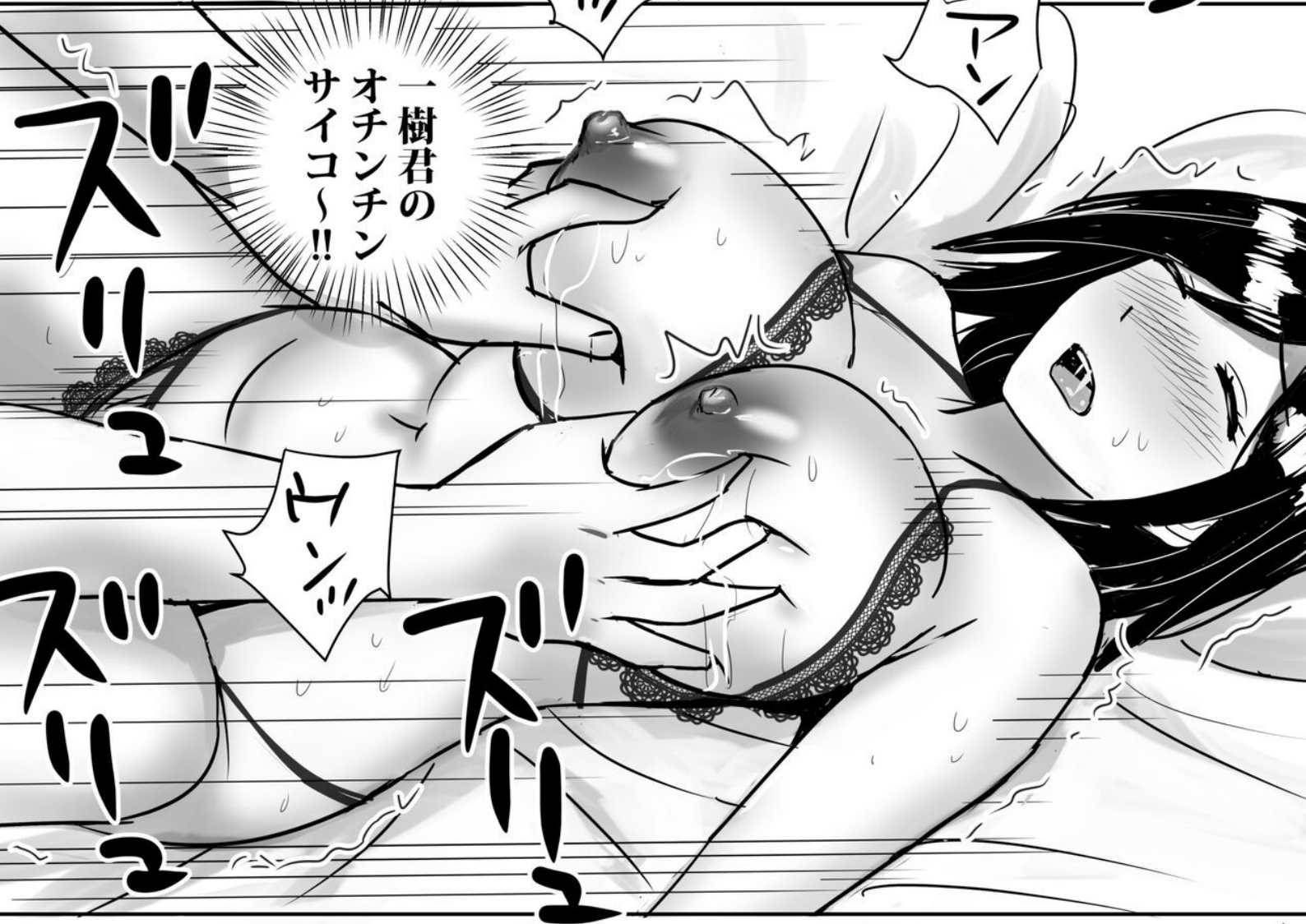
しかたない  
坊やねえ

アキ

ねっ  
セックスして  
いいでしょ？



やっぱり  
イイ〜



一樹君の  
オチンチン  
サイコ〜!!



大好きだよ!!

おばさん  
好きだ!

びしょ

びしょ

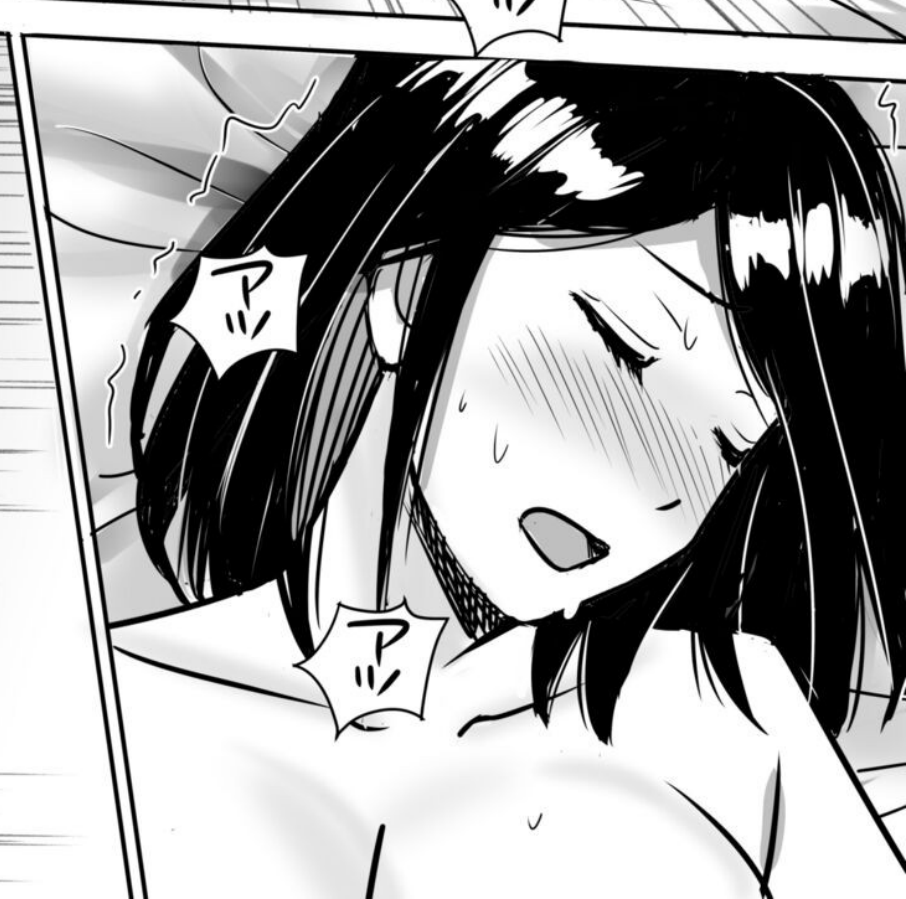
びしょ

ああ：  
こんなこと  
ダメなのに...

のめり込んでく

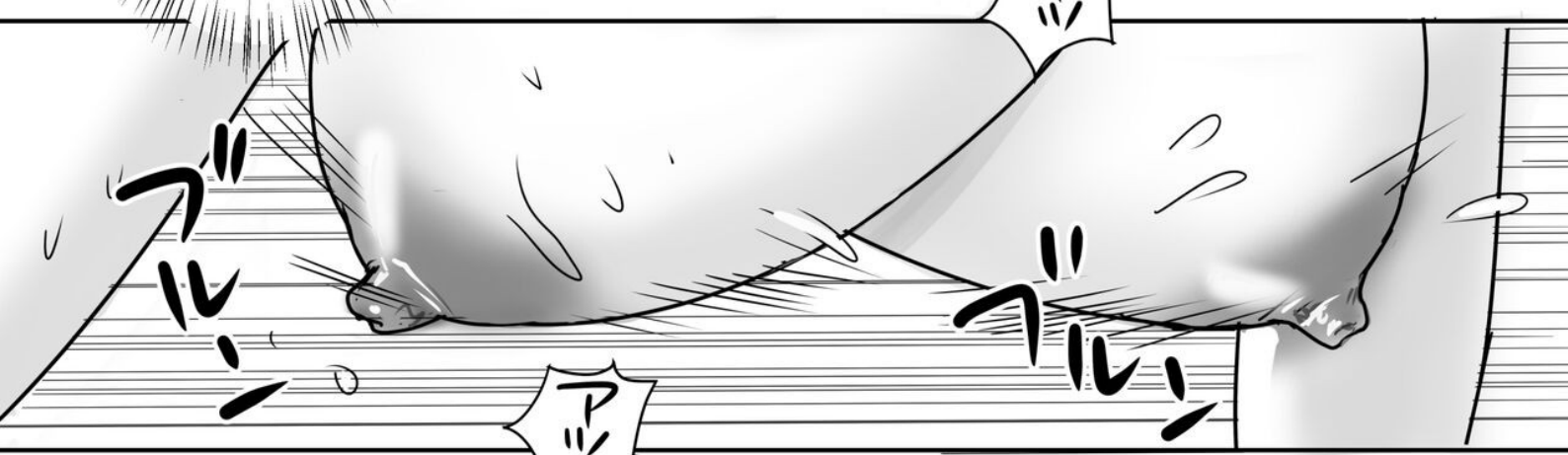


一樹君の  
オチンチンで  
私のアソコ  
蕩けそう





私完全に一樹君の  
オチンチンの虜に  
されてる…



僕の彼女に  
なってよ  
おばさん

はな、

絶対おばさんを  
幸せにするから

ズキ

ズキ

ズキ

ズキ

ズキ

ズキ



いいわよ  
一樹君の彼女に  
なってあげる

だから  
もっとオマンコ  
して

アッ

アッ

ズキ



あつあつ...  
イケ〜!!

自分から腰振って  
一樹君のオチンチン  
求めてる

一樹君の  
チンポが  
大しゅき〜!!

もっともっとと  
チンポ欲しい〜  
〜!!



一樹君のおチンポ  
味わいたい

うん

あな

ぐ  
ぐ

ア  
ア  
ア

ア  
ア

ア  
ア



お…おばさん  
もうで…出る…

アッ

アッ

いいわよ  
出して!!

一樹君の精液  
私のオマンコに  
たっぷり注いで  
っ!!

びゅん

フ  
フ

フ  
フ  
フ



おばさん  
大好きだよ

私もよ  
一樹君…



ああ…  
ダメよ一樹君  
こんなところで



汗かいたから  
シャワー  
浴びようか

うん





ああ：  
こんなにしたら  
オマンコ壊れ  
ちゃうわ

あー  
あー  
あー

ズリッ  
ズリッ  
ズリッ

うっ

ズリッ  
ズリッ  
ズリッ

ん

ズリッ  
ズリッ  
ズリッ

あー  
あー  
あー

ズリッ  
ズリッ  
ズリッ

でも…  
壊れてもいい

一樹君とセックス  
できるなら本望よ

もっともっと  
突いて〜!!  
オマンコ  
壊して〜!!

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



イッちゃう  
またイッちゃう

あーあ  
あーあ

D

もうおばさんは  
僕のもんだよ  
誰にも渡さないよ

Continue